

4 「交いの国」チャレンジ

「第二期チャレンジ山梨行動計画」 政策別実施状況

基本 目標	4	「交いの国」チャレンジ
----------	---	-------------

政策	1	地域をむすぶ幹線道路網の整備	計画掲載事業数 (再掲は除く。)	7	
<p>【政策推進に当たっての基本的な考え方】 地域間の連携を図るためには、より速く、より便利な移動を可能にする道路網の整備が重要です。 このため、中央自動車道や中部横断自動車道をはじめとする高速交通網の整備や県境付近の渋滞解消を促進します。</p>					
平成 25 年度 の 主 な 取 り 組 み 状 況	項 目		頁	担当部局	
	○ 中部横断自動車道の整備促進		P.62	県土整備部	
	○ 中部横断道沿線地域活性化への支援		P.62	企画県民部・ 産業労働部	
	○ 新山梨環状道路の整備		P.62	県土整備部	
	○ 中央自動車道の6車線化の促進		P.63	県土整備部	
	○ 東富士五湖道路と新東名高速道路の接続の促進		P.64	県土整備部	
事 業 費	行動計画の事業費（4年間の計画額）			54,510 百万円	
	施策・事業の実施に要した事業費（本年度までの実績額）			55,899 百万円	
	前年度までの事業費			37,185 百万円	
	本年度の事業費			18,714 百万円	
数 値 目 標 の 達 成 状 況	数 値 目 標 の 名 称	基 準 値 (基準年度) A	目 標 値 (目標年度) B	現 況 値 (直近データ) C	進捗率(%) $\left(\frac{C-A}{B-A}\right) \times 100$
	生活幹線道路の新規供用延長（行動計画期間中の累計）	—	17.9 km (H26)	11.6 km (H25)	64.8

主要な施策の成果

(予算科目 単位：千円)

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
<p>1 中部横断自動車道の整備促進</p> <p>【高速道路推進課】</p>	<p>道路橋りょう総務費 (2,677,966) 958,887 [1,719,079]</p>	<p>中部横断自動車道の整備が円滑に進められるよう、国から用地買収に関する業務を受託し、更に工事用道路整備についても受託し工事等を進めた。また中部日本横断自動車道建設促進期成同盟会等を通じて、国や中日本高速道路(株)などの関係機関に対する要望活動を行った。</p> <p>これにより、用地確保や工事が進捗し、また、国の予算が増額となるなど整備促進に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・用地の確保 買収面積 1,190 千㎡ (累計) 進捗率 99% 平成 26 年 3 月末現在 ・工事用道路工事の実施 8 路線受託、うち 4 路線完成 ・関係機関への要望活動 6 回
<p>2 中部横断道沿線地域活性化への支援</p> <p>【企画課】 【商業振興金融課】</p>	<p>企画総務費 (4,187) 2,508</p> <p>商工振興費 (101) 101</p>	<p>中部横断自動車道の開通を地域活性化に結びつけるため、地域特性を踏まえた地域活性化策を計画的に支援した。</p> <p>これにより、地域が主体となったプロジェクト推進協議会等において、プロジェクトの推進が図られた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域活性化リーディング・プロジェクトへの支援 プロジェクト推進協議会等への運営支援 6 件 リーディング・プロジェクトに対する助成 4 件 中部横断道沿線地域活性化構想推進協議会の開催 平成 26 年 3 月 ・物流対策研究会の開催 2 回
<p>3 新山梨環状道路の整備</p> <p>【道路整備課】 【高速道路推進課】</p>	<p>道路橋りょう総務費 (24,671) 17,852 [6,819]</p>	<p>甲府市内に集中する交通を分散し、交通渋滞に伴う経済的な損失や環境への負荷を軽減するため、国との連携を図り、新山梨環状道路の整備着手に必要な手続きを進めた。</p> <p>これにより、北部、東部区間とも平成 25 年 3 月に都市計画決定となり、東部区間の(仮称)西下条～(仮称)落合西 I C 間の延長 1.6 km について、平成 25 年 5 月に事業着手した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新山梨環状道路(東部区間) 測量、調査、設計 延長 1.6 km

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
4 西関東連絡道路の整備推進 【道路整備課】	道路橋りょう建設費 (3,933,053) 2,363,608 [1,569,445]	<p>本県と北関東地方との連絡を強化し、本県経済の発展や観光振興につながられるよう、西関東連絡道路の建設を推進した。</p> <p>これにより、山梨市に位置する万力ランプ以北の建設の進捗が図れた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・甲府山梨道路Ⅱ期区間の整備 トンネル工事、道路改良工事 延長 3.9 km
5 生活幹線道路ネットワークの整備推進 【道路整備課】	道路橋りょう建設費 (22,559,799) 13,841,882 [8,717,917] 道路橋りょう整備費 (2,272,020) 1,529,035 [742,985]	<p>地域間相互の交通円滑化を図るとともに、高速道路をはじめとする基幹的な道路へのアクセス性向上、災害時における緊急避難路としての機能強化などを目的として、計画的に国道や県道の整備を推進した。</p> <p>これにより、地域間の連携・緊急避難路の確保が図られた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国道、県道の整備 韮崎南アルプス中央線 外 5 路線 6 箇所 延長 3.4 km
6 中央自動車道の6車線化の促進 【高速道路推進課】	道路橋りょう総務費 (500) 500	<p>小仏トンネル付近など上野原 I C 以東の渋滞解消を図るため、6車線化等の改築の実現に向けて、山梨県高速道路整備促進期成同盟会等を通じ、国や関係機関に対し要望活動を行った。また、知事を会長として、平成 25 年 11 月に東京都、神奈川県、長野県、相模原市と「中央自動車道渋滞対策促進協議会」を設立し、12 月に賛同の市区町村とともに総決起大会と要望活動を行った。</p> <p>これにより、国土交通省が設置した「首都圏渋滞ボトルネック対策協議会」において、小仏トンネル付近など渋滞の顕著な箇所についてワーキンググループにより、具体的な対策の検討を開始した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山梨県高速道路整備促進期成同盟会等を通じた要望活動の実施 4 回

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
7 東富士五湖道路と新東名高速道路の接続の促進 【高速道路推進課】	———	<p>東富士五湖道路と新東名高速道路を結ぶ国道 138 号御殿場バイパス等の早期完成を促進するため、東名・中央連絡道路建設促進期成同盟会等と連携して、国や関係機関に対し要望活動を行った。また、静岡県、国土交通省甲府河川国道事務所、静岡国道事務所及び沼津河川国道事務所と連絡会を開催し、整備を進めることを促した。</p> <p>これにより、平成 25 年度は設計や用地買収を進め、一部工事にも着手し、事業の推進に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 東名・中央連絡道路建設促進期成同盟会等と連携した要望活動の実施 3 回

「第二期チャレンジ山梨行動計画」 政策別実施状況

基本 目標	4	「交いの国」チャレンジ
----------	---	-------------

政策	2	公共交通の利便性向上の促進	計画掲載事業数 (再掲は除く。)	9	
<p>【政策推進に当たっての基本的な考え方】 地域の経済、産業、社会に大きなプラス効果をもたらすリニア中央新幹線の早期実現に向けて積極的に取り組むとともに、リニア開業後の本県全体の活性化方策について検討します。 また、時代の変化に対応した公共交通の活性化に取り組みます。</p>					
平成 25 年度 の 主 な 取 組 み 状 況	項 目		頁	担当部局	
	○ リニア中央新幹線の早期実現		P.66	リニア交通局	
	○ 山梨リニア実験線の早期完成・活用		P.66	リニア交通局	
	○ リニア活用基本構想の策定		P.67	リニア交通局	
	○ 中央東線の高速化及び利便性向上の促進		P.67	リニア交通局	
	○ パークアンドライドの推進		P.68	リニア交通局	
事 業 費	行動計画の事業費（4年間の計画額）			780百万円	
	施策・事業の実施に要した事業費（本年度までの実績額）			2,025百万円	
	前年度までの事業費			482百万円	
	本年度の事業費			1,543百万円	
数 値 目 標 の 達 成 状 況	数 値 目 標 の 名 称	基 準 値 (基準年度) A	目 標 値 (目標年度) B	現 況 値 (直近データ) C	進 捗 率 (%) $\left(\frac{C-A}{B-A}\right) \times 100$
	リニア見学センター入館者数（累計）	1,667,387人 (H22)	2,050,000人 (H26)	1,857,213人 (H25)	49.6
	市町村が運行するバス路線数	94路線 (H22)	114路線 (H26)	107路線 (H25)	65.0

主要な施策の成果

(予算科目 単位：千円)

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
<p>1 リニア中央新幹線の早期実現</p> <p>【リニア推進課】</p>	<p>企画総務費 (1,549,135) 1,417,038 [51,817]</p>	<p>リニア中央新幹線の早期実現を目指し、関係団体等との調整を進めた。</p> <p>これにより、平成 25 年 9 月に公表された環境影響評価準備書において、県内のルートと駅位置が明らかになり、中でも、リニア新駅については、JR 東海に対し県民の総意として要請していた甲府市大津町周辺に建設する計画であることが示された。また、リニューアル工事が完了したりニア見学センター新館が平成 26 年 4 月に開館した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関係団体等との調整 <ul style="list-style-type: none"> J R 東海、関係都府県等との打合せ ・許認可事務に係る課題整理、合理化・迅速化の実施 <ul style="list-style-type: none"> 関係都府県等との打合せ ・リニア見学センターリニューアル展示・建築工事 ・リニア見学センター等を活用した普及・啓発活動の実施 <ul style="list-style-type: none"> 山梨リニアファンクラブ会員の募集 新規会員 1,079 人増 観光物産展、キャンペーンでの P R 活動の実施 リニア見学センターの管理運営
<p>2 リニア中央新幹線建設促進山梨県期成同盟会への支援</p> <p>【リニア推進課】</p>	<p>企画総務費 (5,968) 5,968</p>	<p>リニア中央新幹線の早期実現に向け、リニア中央新幹線建設促進山梨県期成同盟会が行う要望活動や普及・啓発活動を支援した。</p> <p>これにより、早期実現に向け前進が図られた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・陳情・要望活動の支援 <ul style="list-style-type: none"> 国への要望 2 回 平成 25 年 6 月、11 月 ・広報・啓発活動の支援 <ul style="list-style-type: none"> 県民の日への出展
<p>3 山梨リニア実験線の早期完成・活用</p> <p>【リニア推進課】</p>	<p>—————</p>	<p>リニア中央新幹線の早期実現を目指し、将来営業線の一部となるリニア実験線の建設を促進するとともに、県民世論の醸成に向けて、完成後のリニア実験線を活用した営業線仕様での体験乗車の再開に向けて取り組んだ。</p> <p>これにより、平成 25 年 8 月にリニア実験線の走行試験が再開されるとともに、平成 26 年中に体験乗車が再開される見込みとなった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体験乗車の再開に向けた要望活動 <ul style="list-style-type: none"> 国への要望 2 回 平成 25 年 6 月、11 月

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
4 リニア活用基本構想の策定 【リニア推進課】	企画総務費 (14,717) 12,224	<p>リニア中央新幹線開業のメリットを最大限活用するための、リニア活用基本構想の策定を受け、リニア駅周辺整備基本方針の策定に向けた検討を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> 基本方針策定業務委託の実施 駅周辺整備検討委員会の開催 4回
5 リニア交通局的設置 【リニア推進課】	—————	<p>リニア中央新幹線の開業を見据えた関連施策及び公共交通の活性化などを総合的に実施するため、リニア関連業務と総合的な交通政策の施策・事業を推進した。</p> <ul style="list-style-type: none"> リニア中央新幹線関連施策の検討 公共交通活性化施策及び交通安全施策の検討・実施
6 中央東線の高速化及び利便性向上の促進 【交通政策課】	交通安全推進費 (200) 200	<p>中央東線の高速化や利便性を向上させるため、沿線都県と連携する中、中央東線高速化促進広域期成同盟会の普及啓発活動を通じて世論を喚起するとともに、国やJR東日本等に対する要望活動を行った。</p> <p>これにより、平成25年6月、中央東線すべての2km以上のトンネルにおいて、携帯電話の利用が可能となった。平成26年2月には、中央線特急用として、快適性の向上に資する新型車両の導入が発表された。平成26年4月から、長坂駅、小淵沢駅においてIC乗車券が利用できるようになった。</p> <ul style="list-style-type: none"> 中央東線高速化促進広域期成同盟会総会の開催 平成25年8月 JR東日本八王子支社との協議 7回 国、JR東日本への要望活動 平成25年11月
7 中央線特急定期券の導入 【交通政策課】	—————	<p>中央線の利便性向上を図るため、JR東日本八王子支社との協議の場において、中央線通勤通学用特急定期券の導入に向けた検討を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> JR東日本八王子支社との協議 7回 JR東日本への要望活動 平成25年11月

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
8 地域の日常生活を支えるバスネットワークの確保 【交通政策課】	交通安全推進費 (108,144) 108,083	<p>地域における日常の移動手段を確保し、県民の交通利便性を向上させるため、路線バスの運行支援などを行うとともに、市町村の主催する地域公共交通活性化協議会等において、広域的な観点から利便性が高まるよう助言等を行った。</p> <p>これにより、広域幹線バス路線の確保と、市町村が運行するコミュニティバス、デマンド交通の定着が図られた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広域幹線バス路線の確保維持のための支援 26 系統 ・市町村が自主運営するバス等に対する支援 57 系統 ・地域ニーズに対応した地域公共交通活性化への支援 地域バス路線検討会 2 回 市町村主催の地域公共交通活性化協議会等における助言等 14 回
9 パークアンドライドの推進 【交通政策課】	交通安全推進費 (739) 178	<p>車に依存しすぎない交通体系を目指すモビリティマネジメントなどの関連施策として、公共交通の活性化に資する環境にやさしいパークアンドライドを推進した。</p> <p>これにより、イオンモール甲府昭和の駐車場を利用して行っているパークアンドバスライド実証試験において、平成 25 年度の 1 日平均利用者数は 27.86 人と採算ベースを上回る実績となり、平成 26 年度以降は本格運行として継続されることになった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山梨県交通政策会議の開催 平成 26 年 3 月 ・パークアンドライド実証実験の推進 バス路線沿線企業等への P R 平成 25 年 4 月～平成 26 年 3 月 利用者アンケートの実施 平成 25 年 9 月 ・パークアンドライドの普及啓発 エコ通勤研修会でのパークアンドライドの P R エコ通勤トライアルウィークにおけるパークアンドライドの利用促進

「第二期チャレンジ山梨行動計画」 政策別実施状況

基本 目標	4	「交いの国」チャレンジ
----------	---	-------------

政策	3	交流を支える都市基盤整備の推進	計画掲載事業数 (再掲は除く。)	6	
<p>【政策推進に当たっての基本的な考え方】 県都の玄関口である甲府駅南口周辺地域の景観整備を推進し、本県にふさわしい美しく風格のある街並みを創出します。 また、人にやさしく都市機能が集約した都市づくりに取り組みます。</p>					
平成 25 年度 の 主 な 取 り 組 み 状 況	項 目		頁	担当部局	
	○ 甲府駅南口周辺の景観整備の推進		P.70	県土整備部	
	○ 県庁敷地のオープン化の推進		P.70	総務部	
	○ 交差点の整備推進		P.70	県土整備部	
	○ 電線類地中化の推進		P.71	県土整備部	
事 業 費	行動計画の事業費（4年間の計画額）		22,420 百万円		
	施策・事業の実施に要した事業費（本年度までの実績額）		18,103 百万円		
	前年度までの事業費		12,492 百万円		
	本年度の事業費		5,611 百万円		
数 値 目 標 の 達 成 状 況	数 値 目 標 の 名 称	基 準 値 (基準年度) A	目 標 値 (目標年度) B	現 況 値 (直近データ) C	進捗率(% ($\frac{C}{B} \times 100$))
	主要渋滞ポイントにおける渋滞交 差点改良箇所数	20 箇所 (H19～H22)	40 箇所 (H23～H26)	33 箇所 (H25)	82.5
	電線類地中化延長	13.2 km (H19～H22)	26.4 km (H23～H26)	21.3 km (H25)	80.7

主要な施策の成果

(予算科目 単位：千円)

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
1 甲府駅南口周 辺の景観整備 の推進 【都市計画課】	緊急街路整備費 (684,333) 365,498 [318,835]	<p>甲府駅南口周辺地域を県都の玄関口にふさわしい美しく風格ある街並みにするため、平成 25 年 3 月に策定した、駅前広場等の再整備に関する実施計画に基づき、景観やデザイン面に配慮した詳細設計を進めるとともに、西側工区の工事に着手した。</p> <p>これにより、甲府駅南口周辺地域の再整備の推進が図られた。</p> <ul style="list-style-type: none"> 一般車ロータリーと駐輪場の整備（西側工区） 平成 26 年 2 月～平成 27 年 3 月
2 県庁敷地の オープン化の 推進 【管財課】	財産管理費 (174,849) 156,790	<p>県民・観光客が利用しやすい開かれた県庁となるよう、「オープン県庁敷地整備計画」に基づき、県庁敷地の外構設計を完了した。</p> <p>これにより、県庁敷地のオープン化に向けての推進が図られた。</p> <ul style="list-style-type: none"> 県庁構内外構設計業務 平成 26 年 3 月完了
3 新たな都市づ くりの促進 【都市計画課】	街路事業費 (561,967) 345,786 [216,181]	<p>都市計画区域マスタープランで位置づけた拠点エリア内で行われる土地区画整理事業を支援し、良好な市街地環境を確保するとともに、行政、教育、文化、商業などの都市機能の集約を促進した。</p> <p>これにより、健康で文化的な都市生活ができる宅地を提供し、機能的な都市活動に必要な基盤となる道路や公園などの公共施設整備に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 甲府駅周辺土地区画整理事業の促進 常永土地区画整理事業の促進
4 交差点の整備 推進 【道路整備課】	道路橋りょう建設費 (1,051,350) 540,902 [510,448] 道路橋りょう整備費 (73,161) 62,917 [10,244]	<p>交差点における渋滞の解消や、安全性、走行性の向上を図るため、右折・左折レーンの設置等を推進した。</p> <p>これにより、交差点での円滑な通行、安全性が確保された。</p> <ul style="list-style-type: none"> 交差点の改良 甲府市川三郷線の押越立体交差点 外 11 箇所

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
5 電線類地中化の推進 【道路整備課】 【道路管理課】 【都市計画課】	道路橋りょう建設費 (3,043,962) 1,899,158 [1,144,804] 道路橋りょう整備費 (157,860) 100,620 [57,240] 街路事業費 (591,687) 379,593 [212,094]	魅力ある景観を創出するとともに、安全で快適な道路空間を形成するため、電線類を地中化する電線共同溝の整備を進めた。 これにより、快適な歩行空間の確保と魅力ある景観づくりに寄与した。 ・電線類の地中化 国道 141 号 (韮崎市小田川地内) 外 13 箇所 延長 4.3 km 都市計画道路田富町敷島線 (甲斐市大下条地内) 外 6 箇所 延長 2.3 km
6 街路の整備推進 【都市計画課】	街路事業費 (2,540,653) 1,759,985 [780,668]	人にやさしく都市機能が集約した都市づくりを目指し、市街地の街路の整備を行った。 これにより、交通の安全性を確保し、人にやさしい交通環境の創出に寄与した。 ・街路の整備 (都)上於曾駅前赤尾線 (電共) (甲州市塩山地内) 延長 0.44 km (都)船津小梅線 (富士河口湖町小立地内) 延長 0.38 km (都)塩部町開国橋線 (電共) (甲府市塩部地内) 延長 0.59 km

